

HV活用し医療的ケア児の災害時支援

トヨタカローラ香川
共同応募・香川県医療的ケア児等支援センター
「ソダテル」

トヨタカローラ香川（向井 良太郎社長、香川県高松市）は2024年3月以降、カーシェアリング用ハイブリッド車（HV）の給電システムによる医療的ケア児の災害時支援に取り組んでいる。

この取り組みは、医療的ケア児とその家族の防災を考える勉強会を開催していた同社顧客の活動に同社社員が関心を抱いたことに端を発する。

香川県では、難病や障害で医療的ケアを必要とする人た

ちが被災時に最も希望する避難所として自宅と医療機関が8割以上を占め、一般避難所が0・8%と「避難」に対する不安が健常者以上に大きい実態がある。災害時の長時間にわたる停電により人工呼吸器やたんの吸引などに使用する医療機器が使用不能となるほか、命にかかわる事例が発生するため、蓄電池の備えが必要になる。

この実態を受け、モビリティ領域で何か貢献できないかと考えた同社は、HVシェアカーを配置することで災害時に車両の給電システムを活用してもらえないかと考えた。レンタカーと異なり、シェアカーはスマートフォンのア

プリからドアロックの開閉、エンジンスタートを行えるため、人を介在させずに災害時にすぐ使える利点がある。

同社は、さまざまな企業に医療的ケア児の災害時支援への協力を働き掛け、HVから医療機器へ



給電機能使い、医療機器の電力供給

実際に給電する体験や車中避難デモンストレーションなど、の実証の場を設けるなど、医療機器利用者との具体的な情報交換を行った。

今後同社は、カーシェアリング用HVを活用した医療的ケア児の災害時支援の具体的な仕組みの構築に向け、行政と企業の協働、障害と障害者理解の促進、災害対策を柱に、共生社会実現のための地域ネットワーク構築を進めていく。



【受賞者コメント】この度は、モビリティ・ソリューション賞を頂き、大変光栄に思っています。県内のオールトヨタで香川県と災害時の給電提供の協定は結んでいますが、この度、医療的ケア児のサポートをされている方々との出会いからこの取り組みが生まれました。まだまだ道半ばですが、災害時に機能するよううに引き続き取り組みを進めて行きたいと思っています。ソダテル様をはじめ関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。